

「親切第一」即「健康第一」

社長 オウスター 星

私の主張した「親切第一」

の標語は、私の知己、友人、社員等以外の人々までもよく其の意義を了解して呉れて、時務に適切な現代教と讃する者もあるが、中には又誠意とか冒險とかいふ意味を加味した方が一層完全するといふ者もある、けれども誠意のない親切といふものは有りやうがなく、又親切でない冒險は無意義な冒險で、そんな冒險はしない方がよい。畢竟、處世の要諦は「親切第一」といふことであつて、世の中の善い道徳、善い哲學、善い政治といふのは凡て親切を第一としたものである。私は言葉若くは思想よりも實行を重んじる、いくら高遠なる思想でも幽玄なる言葉でも實行の出来ないものならば何等の價値がない。近ごろ思想が混亂し、舊宗教の權威が失墜したとかいふので

世界の宗教哲學を打つて一丸とし、これに新味を加へた新宗教を創め度といふ者もだん／＼あるやうであるが、そういふことが出来るかどうかは暫く別問題として、之を創設しても、自ら之を實行する丈の人格が伴はなければ、空想といふものになる。ソクラテスの知徳合一、王陽明の致良知といふが如きは、最も實行を重んじた教義である。私は神の本體を親切と心得「親切第一」を宗旨として之れを宣傳したのであるが、如何にして神佛に對して親切を盡し、如何にして自他に對して親切を盡し、如何にして仕事及び品物に對して親切を盡すべきかといふ實行の點に至ては、日夜、唯其の及ばざらんことを懼れてゐる。けれども凡てを實行する原動力は一に健康に俟たなければならぬ。健康あつての「親切

第一」である、不健康は第一自己に對し、親に對し、事業に對し、國家社會に對し、神佛に對しての大なる罪惡である。病理、衛生、藥學、遺傳等の學術は素よりのこと、政治、法律、教育思想、宗教乃至一切の社會政策は凡て人間の健康を基調とし、これを増進せんが爲めに企てられるものである。若し誤つて人間の健康を損ずるやうな學術や思想や施設が試みられた場合には、直ちにこれを排斥せなければならぬ。而して健康は又一に衛生によつて保たれる。衛生とは病氣を豫防し、健康を増進し、進んで生の意義を充實せしめることだ、ところが我が日本

ロシア未來派の畫

美術季節に際して、日本に於ける最初のロシア畫展會が十月十四日より三十日迄に二週間餘本三階樓上に於て開かれた。出品點數約五百、作者三十名。此の一行を率ゐるロシア未來派の父たるデー、ブルリユック君の語る所によれば彼等は千九百十八年の春莫斯科の飢饉に際し一族(未來派)のパンの代を得る爲めに、爾來三ヶ年西伯利の各都市及浦鹽

に於ては人生問題の第一義ともいふべき衛生の點に於て未だ遠く歐米に及ばないものあることを私は常に遺憾としてゐる。而して私がどんな地位をも顧みないで一圖に賣藥業の發展を圖り度いと志したのも、要するに衛生を實現せんが爲めに外ならない。私の天職、私の使命は其處にあると信じてゐる。今後、社會は愈々複雑となり日本の對世界的關係も益々密接を加へつゝある。世に處し事をなすに、健康といふことが何よりも重大なる資力となる。本誌も爾今は衛生を主にし度といふから、讀者諸君も一層健康を重んぜられんことを切望する。斯德を放浪し、各地に展覽會を開いてそれに依つて辛く生活を支へ、かくて遂に日本に來ることを得たのだから、本社が一切無條件で會場を開放したことを非常に感謝した。彼等の畫を見ると強い生命の躍動を感じ、其の他凡ての過去に反抗して未來を憧憬する態度は雄々しくも亦涙ぐましい感じがする。吾等は彼等によつて「秘められた生命」を見得たと感謝し度い(ZY生)